No.20

令和７年３月市議会定例会

施　政　方　針　（要　旨）

本日ここに、３月市議会定例会を招集申し上げましたところ、議員皆様には御健勝にて御参会を賜り、令和７年度の予算案を始め、市政の重要案件につきまして御審議をいただけますことは、市政進展にとりまして誠に喜ばしく、感謝を申し上げます。

市政は、おおむね順調に推移しておりますが、このことは、議員皆様の御指導と市民皆様の御理解、御協力によるものと、心から感謝するものでございます。

開会に当たりまして、新年度に臨む私の市政運営の基本的な考え方と令和７年度予算の概要などにつきまして申し上げます。

Ⅰ　市政運営に当たって

令和７年度は、第３期熊谷市人口ビジョン・総合戦略のスタートの年となります。

第２期では、人口減少に歯止めをかけ、将来にわたって活力ある地域を維持していくため、第１期の取組を継承しつつ、「交流関係人口の創出・拡大」や、「時代にあった地域づくりの実現」などの視点を加え、あらゆる世代が暮らしやすく、バランスの取れた年齢構成による、持続可能なまちづくりを進めるための施策に取り組んできたところです。

第２期の効果検証と現状分析から、起業や就業支援については、一定の成果を上げているものの、子育て支援や、誰もが活躍する社会の実現に資する各施策については効果が十分に発現しているとは言えず、こうした人口減少への対策は息の長い取組が求めら

れることから、切れ目なく進めていくことが重要であると考えております。

また、昨今のコロナ禍を契機に、デジタル・オンラインの活用が進んでおり、時間と場所にとらわれない社会活動が進展していることなどに鑑み、第３期は、第２期の取組を継続しつつ、基本目標に「誰もが便利で快適に暮らせるデジタル基盤の整備」を新たに加え、より一層のデジタル技術の活用を推進してまいります。

デジタルを活用することの価値を実感していただけるよう、年齢・性別の違い、地理的な制約や障害の有無に関わらず、「誰一人取り残されない」デジタル社会の実現に向けて取り組んでまいりたいと考えております。

本市は、今年、新市誕生から２０年の節目を迎えることになりますが、これまでの歩みを振り返り、課題の解決に真摯に取り組むとともに、時代に沿ったニーズに的確に対応することで、日々の生活の利便性や満足度を高めてまいります。

これからも市民の皆様が、この熊谷に暮らすことに誇りや愛着を持ってもらえるよう、まちづくりの方向性を共有しながら、施策の一つ一つを着実に進めてまいります。

さて、我が国の経済情勢ですが、依然として物価の高騰が続いており、１月の消費者物価指数は、前年同月と比べて４．０％も上昇するなど、市民生活や地域経済に大きな影響を及ぼしております。

本市の財政運営も資材の高騰や人件費の上昇など、長らく経験してこなかった避けがたい急激な歳出の増加に直面しており、少子高齢化の進展による社会保障費の増大なども相まって、厳しい財政運営を迫られております。

また、歳入の面におきましても、これまでインフラや公共施設の整備等に活用してまいりました旧合併特例債の発行期限が最終年度となることや、税制改正に伴う給与所得控除などの見直しの動きがあり、税収の大幅な減少が懸念されることなどから、地方財政を取り巻く状況は、大きな転換期を迎えているものと考えております。

エネルギーや食料品価格等の物価高騰への対応といたしましては、国の補正予算による物価高騰対応重点支援交付金を活用して、住民生活支援や地域経済対策等の取組を実施することとし、特に、物価高騰の負担感が大きい低所得世帯に対する給付につきましては、迅速にその支援を届けられるよう、専決処分にて早急の対応を行ったところでございます。

このほか、消費の下支え等を通じた支援として、クマＰＡＹのプレミアム還元キャンペーンを行う事業のほか、物価高騰による影響を受けている公共交通事業者や畜産農家などを支援するための予算を本定例会に提案しており、その効果を感じてもらえるよう速やかに事業を実施してまいりたいと考えております。

今後も、持続可能な行政運営と健全財政を維持していくためには、これまで以上に歳出の抑制や自主財源の確保に努めるととも

に、行政課題や市民ニーズを的確に捉え、今、やるべきことは何かをしっかりと見極めながら、より効果的で効率的な施策や事業に取り組んでいかなければならないと考えております。

厳しい財政運営が見込まれる中にあっても、その先の本市の発展や未来のまちづくりをしっかりと見据えながら、住民の利便性向上や地域活性化の核となる「北部地域振興交流拠点施設」や「利根川新橋の整備」などの施策の早期実現に向け、郷土熊谷を愛する熱い思いと強い覚悟をもって、引き続き力強くその歩みを進めてまいりますので、議員の皆様、市民の皆様には、一層の御理解と御協力をいただきますよう、お願い申し上げます。

Ⅱ　令和７年度当初予算案の概要

それでは、令和７年度当初予算案の概要につきまして申し上げます。

初めに予算規模でございますが、一般会計は７９７億円で、対前年度比９．３３％、額にして６８億円の増となり、過去最大の予算総額といたしました。

これは、来年４月にオープンを予定しております「子育て支援・保健拠点施設」の整備を始め、北部地域振興交流拠点施設の整備に向けた基本計画の策定や、市民生活の利便性を向上させるためのスマートシティの推進など、長年の懸案や熊谷の未来のまちづくりの礎（いしずえ）となる事業に積極的に予算措置を行ったものでございます。

また、八潮市における道路陥没事故により住民生活に影響が及んでおりますが、これを対岸の火事と捉えることなく、市民生活に支障が生じることのないよう、引き続き道路インフラ等の点検や整備を行うための予算を始め、物価や労務単価の上昇などによる社会経済情勢の変化に対応しつつ、防災・減災のための事業や子育て環境の向上、地域経済の活性化に資する施策など、市民の皆様からの要望に応えられるよう、安心・安全、健康、福祉、環境、教育など、市民生活に直結した事業に対しましても必要な予算配分を行ったところでございます。

特別会計は、３会計を合計して２３５億４，４００万円、対前年度比０．１５％、額にして３，６００万円の減となりました。

公営企業会計では、水道事業会計が８６億５００万円、対前年度比２．２４％、額にして１億９，７００万円の減、また、下水道事業会計は７８億１，２００万円、対前年度比２．８％、額にして２億１，３００万円の増となりました。

これら全ての会計の総計は、１，１９６億６，１００万円で、対前年度比６．０１％、額にして６７億８，０００万円の増となったものでございます。

さらに、国の補正予算における物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用する事業に１１億３，０００万円、また、当初予算で措置を予定しておりました小・中学校の校舎大規模改造事業に約２０億５，０００万円、小学校トイレ整備事業に約４億

３，０００万円を３月補正予算案へそれぞれ計上いたしました。

これらの事業は、令和７年度に繰越しをして実施いたしますので、この額を当初予算と合わせますと、一般会計の実質的な予算規模は、更に大きくなるものでございます。

なお、当初予算の編成に当たりましては、市民の皆様からお預かりした大切な市税が財源であることを改めて念頭に置き、市民目線に立ち、真に市民生活に資するものに予算を配分するという考え方を前提に、創意工夫を凝らして、より一層効率性を高めながら、引き続き健全財政を維持してまいる所存でございます。

続きまして、来年度予算の主な事業でございますが、まず２０周年記念事業について御説明申し上げます。

その後、後期基本計画のリーディング・プロジェクト及び計画の基本となる施策の大綱に基づきまして、新たな取組を中心に主な事業を御説明申し上げますとともに、３月補正予算に前倒しをして計上しております事業につきましても併せて御説明をいたします。

熊谷市誕生２０周年記念事業

初めに『熊谷市誕生２０周年記念事業』の主な事業について、申し上げます。

「『２０周年記念』記念式典事業」は、今年の１０月に新市が

誕生して２０周年を迎えますことから、本市のこれまでの歩みを振り返るとともに、皆様への感謝の意を表するため、記念式典を実施するものでございます。

「埼玉ワイルドナイツパートナー事業」及び「プロスポーツ試合開催事業」は、本市を本拠地とするプロスポーツチームのホームゲームを２０周年記念の冠試合として開催するものでございます。市民のみならず、ファン、サポーターとともに２０周年を祝うことで機運や一体感の醸成を図るとともに、スポーツによるまちづくりを広く発信してまいります。

リーディング・プロジェクト

次に『リーディング・プロジェクト』の主な事業について、申し上げます。

まず、「親子の笑顔が輝くまちづくり」に関する事業ですが、次世代を担う子供たちの健やかな成長を支援するため、０歳児から２歳児の保育料について完全無償化といたします。子育て世代の経済的な負担軽減を図ることで、切れ目なく、誰もが安心して子供を生み育てられる環境を充実させてまいります。

次の「次世代のための公共施設マネジメント」に関する事業といたしまして、「北部地域振興交流拠点施設（仮称）推進事業」は、県との共同事業になりますが、県の産業振興機能と市庁舎機能を併せ持った拠点施設としてより具体的に整備を進めるため、

基本計画を策定するものでございます。

「（仮称）第２中央生涯活動センター整備事業」は、令和９年１０月の供用開始に向け、既存施設の解体工事及び本体の建設工事などを行うものでございます。

次にスマートシティに関する事業ですが、民間が所有するデータの取得や連携により更なるデータの利活用を推進するとともに、市民や事業者などの多様な関係者との連携を構築することで、新たな経済活動の創出につなげる事業などに取り組んでまいります。こうしたＤＸの取組をより一層加速させることにより、市民生活の利便性や日々の生活の満足度の向上を図ってまいります。

また、新たな取組として、妻沼地域に乗合型のＡＩオンデマンド交通を導入し、移動が困難な方の交通手段の確保と利便性の向上を図るとともに、バス路線との交通結節点を設けることにより、公共交通網との共存と連携強化を図ってまいります。

スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち

次に『スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち』に位置付ける事業につきまして申し上げます。

「イベントチラシ掲示板事業」は、市内で開催されるイベント情報について、市報やクマぶらを通じて市が主体となって情報発信を行っておりますが、より多くのイベント情報を発信できるよう、主催者自らが簡単に投稿できる仕組みを構築するものでござ

います。

健康で安全・安心に暮らせるまち

次に『健康で安全・安心に暮らせるまち』に位置付ける事業につきまして申し上げます。

「がん患者ウェルビーイング事業」は、がん治療に伴う外見の心理的負担を軽減するため、これまでもウィッグの購入に係る費用の一部を助成しておりますが、これに加え、要望が寄せられておりました胸部補整具の購入につきましても補助対象とするものでございます。

また、新たな取組といたしまして、ＡＹＡ世代と呼ばれる思春期や若年成人世代の終末期がん患者を対象に、自宅で安心して療養生活が送れるよう、訪問介護や福祉用具の購入など、在宅療養に必要な生活支援費用の助成を行ってまいります。

人にやさしい思いやりのあるまち

次に『人にやさしい思いやりのあるまち』に位置付ける事業につきまして申し上げます。

「老人福祉センター江南荘耐震補強事業」は、利用者の方が安心して安全に施設を利用していただけるよう、災害時における施設の機能停止や倒壊を防ぐための耐震補強工事を行うものでございます。

「学校給食費負担軽減支援事業」は、食材費の高騰による給食

費改定分を公費負担し、保護者の負担額を据え置くことで、子育て世帯を支援するものでございます。

環境にやさしく自然が豊かなまち

次に『環境にやさしく自然が豊かなまち』に位置付ける事業につきまして申し上げます。

「省エネ家電普及促進事業」は、市民に対して省エネ機器の導入を促すことで、本市の脱炭素化を促進するため、引き続き、一定基準以上の省エネ性能の家電を購入した場合に、その費用の一部を「クマＰＡＹ」で補助するものでございます。

人が集い活力のある産業が育つまち

次に『人が集い活力ある産業が育つまち』に位置付ける事業につきまして申し上げます。

「熊谷発スタートアップ支援事業」は、熊谷スマートシティの取組を通じて、デジタル先端技術等を活用した起業や新事業にチャレンジする事業者等を支援することで、市内産業の活性化とスマート化を推進するものでございます。

「（仮称）樋春地区産業団地整備計画検討・調査事業」は、企業誘致及び市内企業の事業拡大を促進し、地域経済の更なる発展につなげるため、立地先となる産業団地整備計画を検討するための調査業務を行うものでございます。

快適で暮らしやすいまち

次に『快適で暮らしやすいまち』に位置付ける事業につきまして申し上げます。

「まちなかウォーカブル推進事業」は、星川通りの滞留空間の整備やグリーンスローモビリティの走行実証実験を行うなど、官民が一体となってにぎわいのある歩行空間を創出し、居心地がよく、歩きたくなるまちづくりを進めるものでございます。

「熊谷駅南口周辺再整備促進事業」は、熊谷駅南口エリアの民間主体による再整備を促進するため、令和７年度は、まちづくりビジョンの策定に向けたワークショップのほか、民間事業者等への意向調査などを行うものでございます。

地域に根ざした教育・文化のまち

次に『地域に根ざした教育・文化のまち』に位置付ける事業につきまして申し上げます。

「新くまなびスクール事業」は、市内の全小中学校に校内教育支援センターを設置し、不登校傾向にある児童生徒への支援を行うとともに、全ての児童生徒を対象に、授業の補助や放課後等における学習支援を行うものでございます。

「『踊る埴輪』知名度アップ事業」は、「踊る埴輪」が出土した「野原古墳」の御墳印を作成し販売するほか、１０分の１スケールの樹脂型を作成し、イベント等を通じて多くの方々にストラップづくりを体験してもらうことで、「踊る埴輪」への親しみや

郷土愛を醸成するとともに、一層の知名度アップを図るものでございます。

市民と行政が協働して創る満足度の高いまち

次に『市民と行政が協働して創る満足度の高いまち』に位置付ける事業につきまして申し上げます。

「シティプロモーション事業」は、本市の歴史や文化、スポーツなどといった地域の魅力を「見つける・創る・磨く」活動や、市内外への情報発信により、熊谷の価値やイメージを高める活動をシティプロモーションと定義付け、「熊谷市のファンを増やす」様々な活動を官民が連携して展開するものでございます。

「地域会館整備事業」は、老朽化した地域公民館の機能を引き継ぎ、生涯学習や地域活動の拠点となる地域会館について、三尻、佐谷田、大幡及び大麻生の４地域に整備するものでございます。

続きまして、各特別会計、水道事業会計及び下水道事業会計の当初予算でございますが、各会計におきまして、それぞれ見込まれます所要の経費を計上いたしております。

以上、令和７年度予算の概要及び主要な事業について御説明申し上げました。

次に、令和６年度補正予算案について申し上げます。

一般会計におきましては、主要な事業の中で御説明いたしました国の臨時交付金等を活用する事業のほか、「小・中学校校舎大

規模改造事業」や「小学校トイレ整備事業」を前倒しをして計上し、令和７年度に繰り越し、実施するものでございます。

また、令和６年６月から９月の高温により農作物に被害を受けた農家に対する、次期作用種苗及び肥料購入費の補助金を計上するほか、各事業費の確定などに伴い、関係経費を補正するものでございます。

特別会計におきましては、国民健康保険に係る事業費などの確定に伴い補正するものでございます。

このほか、一般議案といたしまして、「熊谷市営駐車場条例の一部を改正する条例」などを御提案申し上げます。

慎重御審議の上、御可決を賜りますようお願いを申し上げまして、施政方針及び予算案の概要説明を終わります。